

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、新興国通貨に対するリスク回避のドル買いも一服し、レアルの買戻しが優勢の展開となった。2.69台付近で取引が始まると、引けにかけて徐々にドル売りが強まり、一時2.64台半ばまで下落した。原油価格の急落やルーブルショックを要因として、グローバルにリスクセンチメントの悪化が進行したが、イエレン議長はFOMC後の記者会見において、これらのリスクについて特段の懸念を示さなかった。また、FRBは利上げに向けて着実に前進していると推測されるが、「忍耐強く(can be patient)」との文言が示唆するように、市場予想よりも早い時期に、または急激なペースで実施されるとの見通しが後退したこともレアルを下支えしたと見られる(なお、FRBは「can be patient」との文言を2004年声明文にも使用しているが、当時は1月にこの文言を導入し、6月に利上げが開始された)。

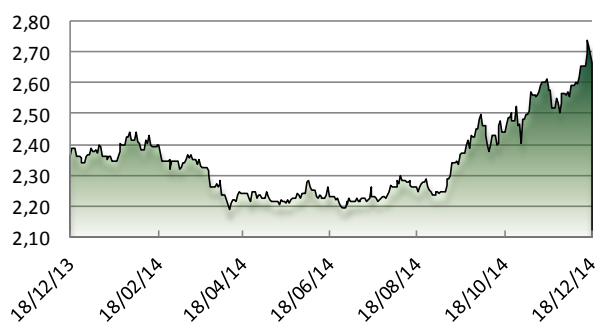
原油価格を中心とした商品市況の悪化や中国経済の減速懸念、ルーブルショックなどの外的要因により足許で急速にレアル安が進行したが、今後のレアルの方向性を見通す上で、ブラジル固有の材料としては①2期目に突入するルセフ政権が財政緊縮化を実現できるかどうか、②為替介入プログラムの規模が来年変更されるかどうか、の2点が重要である。ルセフ大統領は昨日、過度な増税に頼ることなく、歳出削減や補助金の削減を通じて最大で1000億レアルの予算圧縮を図り、投資家の信頼回復を目指す方針を明らかにした。具体的には、ブラジル開発銀行(BNDES)への補助金削減が予定されている。また、トンビニ中銀総裁は16日、2015年も為替介入プログラムを継続する一方、介入規模については現状の1日当たり2億ドルから5000万ドルまで縮小する可能性を示唆した。

マーケットデータ

Indicator	Unit	12月17日	12月18日	前日比	11月18日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,69	44,65	+0,96	45,24	-0,59
USD / BRL Spot	BRL	2,7153	2,6628	-0,0525	2,5828	+0,0800
USD / JPY Spot	JPY	118,65	118,84	+0,19	116,86	+1,98
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	48.714	48.496	-218	52.062	-3.566
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	215,7	211,7	-4,0	185,7	+26,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,79	12,65	-0,14	12,94	-0,29
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,92	12,91	-0,01	12,51	+0,40
3 Months US Dollar Libor	%	0,245	0,245	+0,000	0,232	+0,013
CRB Index (国際商品指数)	Index	239,9	237,9	-2,0	265,8	-27,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

